

# Ledya Home Doctor

レディアホームドクター

## Q&A

40代前半から顔にシミができるようになり、最近濃くなったような気がします。シミを薄くする塗り薬があると雑誌で見たのですが、どのようなものですか。 (40代女性)

### 加齢に伴う「老人性色素斑」や「肝斑」に2種類の塗り薬でシミを薄く

一般にシミといわれているものには、老人性色素斑（加齢に伴うシミ）、肝斑、雀卵斑（そばかす）、老人性角化症などがあります。これらが混在している場合もあり、治療方法はそれぞれ異なります。

40代前半から見られ始めたということでしたら、加齢に伴う老人性色素斑や肝斑が考えられます。外用薬にはハイドロキノン軟膏やトレチノイン軟膏があります。

ハイドロキノン軟膏は、シミの原因であるメラニン色素を作るチロシナーゼという酵素やメラノサイトの機能を抑制する作用があり、シミの漂白剤と言えます。トレチノイン軟膏は皮膚の生まれ変わるサイクルを早めて、表皮内にあるメラニン色素を上層に押し上げていく作用があります。これら2剤を併用して使用することにより、表皮はメラニン色素の少ない新しい皮膚に置き換えられます。

いずれにせよ、シミの予防には季節を問わず紫外線を防ぐことが重要であり、自分のシミが何であるか専門医で診断を受けることが大切です。



回答医師

**原口 裕子** 先生

岡山第一病院 皮膚科医長  
近畿大学医学部卒業。近畿大学附属病院、岡山大学病院皮膚科勤務を経て、2011年より現職。日本皮膚科学会専門医。日本美容皮膚科学会会員。

■岡山市中区高屋343 ■TEL.086-272-4088

URL:<http://www.okayama-daiichi.jp>